

第 12 回猪名川部会(2002.7.11)の質問に対する回答

「猪名川直轄区間の水防団の現状」

第 13 回猪名川部会

平成 14 年 8 月 20 日

## ■猪名川直轄区間の水防組織について

\* 各市水防団としては存在せず、消防団がその任務を負う\*

	消防団				消防本部・消防署	
	団体数	分団数	団員数	内女性数	機関数	職員数
豊中市	1	14分団	511人	20人	11	397人
池田市	1	7分団	180人	0人	2	103人
尼崎市※1	1	2機動隊20分団※2	341人※2	2人※2	3※2	90人※2
伊丹市※1	1	2分団	32人	0人	2	77人
川西市	1	11分団	412人	27人	6	139人
計	5	54分団	1476人	49人	24	806人

※1 猪名川・藻川を主に担当している消防団についての数

※3 近年5年程度の延べ数。内水に係る状況含む

※2 園田支所及び小田支所に在する出張所・分署についての数

※4 日数でしか把握していない

## ■猪名川直轄区間の水防組織について

\* 各市水防団としては存在せず、消防団がその任務を負う\*

	出動状況※3				水防訓練		年齢構成
	出動洪水数(のべ)	出動団数(のべ)	出動人数(のべ)	活動内容	回数	内容	
豊中市	1回	9分団	139人	集中豪雨による低地浸水の家屋・地下室等の排水活動	×	—	40代
池田市	0回	0分団	0人	—	×	—	40代
尼崎市※1	2回	58分団	約500人	警戒・巡視・危険箇所の措置	年1回	三段積(積み土嚢工)	40代
伊丹市※1	3回	8分団	74人	巡視・土嚢積み	年1回	積み土嚢, 月の輪, せき板, 釜段工法実施	30代
川西市	10日※4	58分団	460人	ポンプ排水等	年1回	月の輪, 改良5段積み, 釜段工法	30代
計		133分団	約1173人				

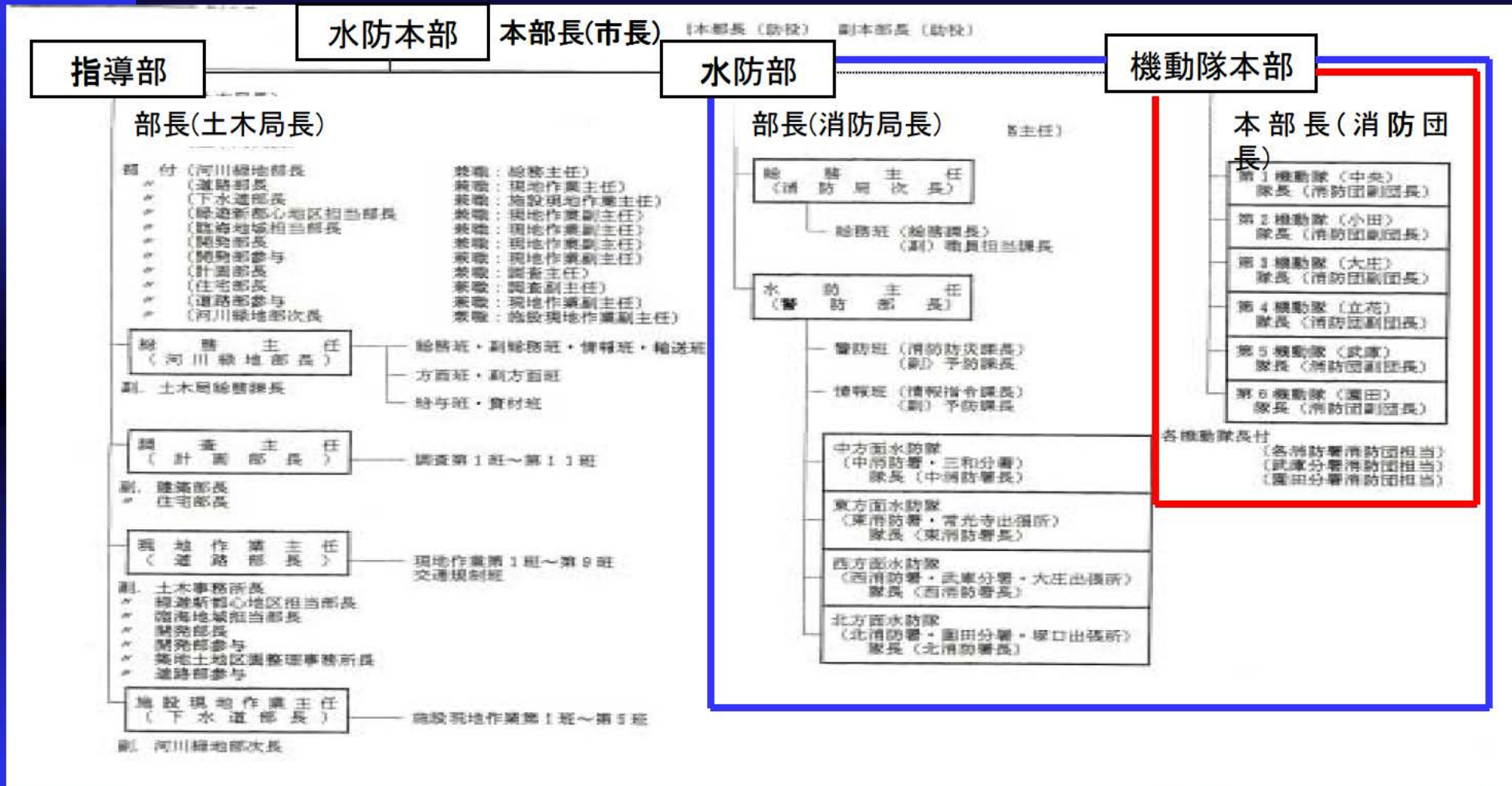
※1 猪名川・藻川を主に担当している消防団についての数

※3 近年5年程度の延べ数。内水に係る状況含む

※2 園田支所及び小田支所に在する出張所・分署についての数

※4 日数でしか把握していない

# ■ 消防機関の体制 (尼崎市の例)



職員

住民

# ■水防警報・洪水予報

## ■水防警報とは

河川の水位が上昇し、堤防などが危険な状態になった場合、  
埼玉川工事事務所が、水防の責任者である各市町に水防活動を  
要請するために発表する警報を「水防警報」といいます。  
水防警報は、さらに「待機・準備・出勤・解除」に分かれ、  
状況に応じて、水防活動上必要な情報が発表されます。

## ■洪水予報とは

洪水時の河川の水位状況などの情報や、今後予測される  
危険な状況を関係機関や沿川住民に知らせる予報のことで、  
気象庁と共同で発表します。  
洪水予報には、洪水注意報・洪水警報があり、必要に応じて  
雨量や水位、流量、気象などの洪水情報が発表されます。

